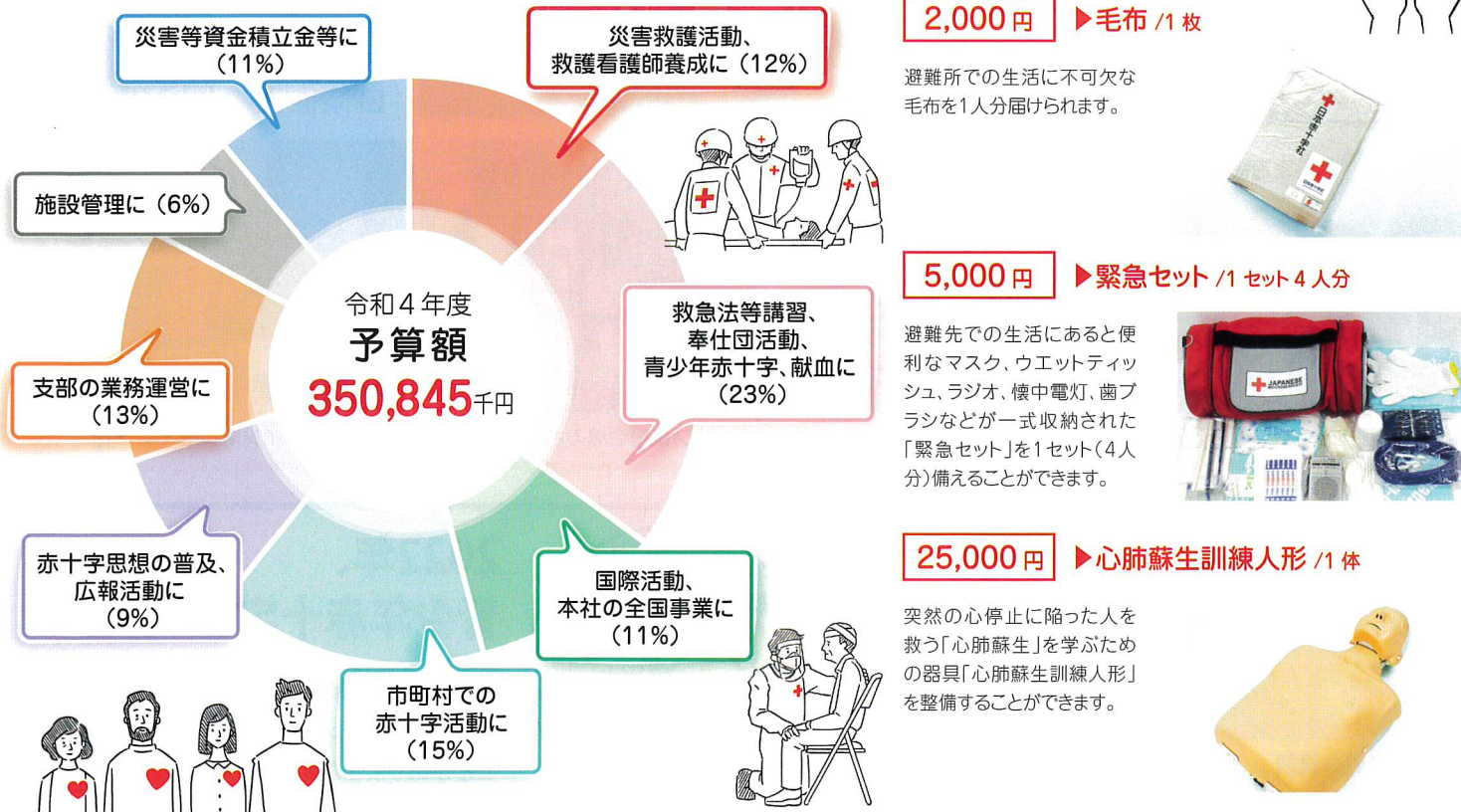


皆さまからお寄せいただいた活動資金は、
様々な事業に活用されます。



あなたのご寄付でできること



2,000円 ▶毛布 /1枚

避難所での生活に不可欠な毛布を1人分届けられます。



5,000円 ▶緊急セット /1セット4人分

避難先での生活にあると便利なマスク、ウエットティッシュ、ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが一式収納された「緊急セット」を1セット(4人分)備えることができます。



25,000円 ▶心肺蘇生訓練人形 /1体

突然の心停止に陥った人を救う「心肺蘇生」を学ぶための器具「心肺蘇生訓練人形」を整備することができます。



日本赤十字社へのご寄付の方法

赤十字へのご協力は任意であり、最寄りの赤十字窓口(市町村役場/社会福祉協議会)でのお申込みの他、以下の方法でご寄付を受け付けています。

銀行・郵便局窓口で

専用の振込用紙をご用意しておりますので、お電話(組織振興課：024-545-7998)または福島県支部のホームページ内お問い合わせフォームよりご連絡ください。

口座自動引き落しで

口座振替申込書をお送りいたしますので、上記と同様に当支部までご連絡ください。ご寄付の頻度(毎月払い・年1回払いなど)や引き落とし希望月がご選びいただけます。

クレジットカードで

インターネット上でお申込みいただけます。クレジットカード申込専用ページ <https://donate.jrc.or.jp/> アクセスはこちらから



◆遺贈・相続財産のご寄付も承っております。パンフレットをお送りしておりますのでお電話にてお問合せ下さい。

表彰制度のご案内

特別社員 称号贈与通知書 金色バッジ 一時又は数次(10年以上)に2万円以上のご協力を下さった方	支部長感謝状 感謝状 一時又は累計で10万円以上20万円未満のご協力を下さった方	社長感謝状 感謝状 金色有功章受章後のご協力が50万円に達した都度(分納額の合算可)
銀色有功章 楯 略章 一時又は累計で20万円以上50万円未満のご協力を下さった方	金色有功章 金色有功章(男性用) 金色有功章(女性用) 章記 略章 一時又は累計で50万円以上のご協力を下さった方	

※年間100万円以上のご協力については、上記以外の表彰もございますので、詳しくは当支部までお問合せください。

税制上の優遇措置について

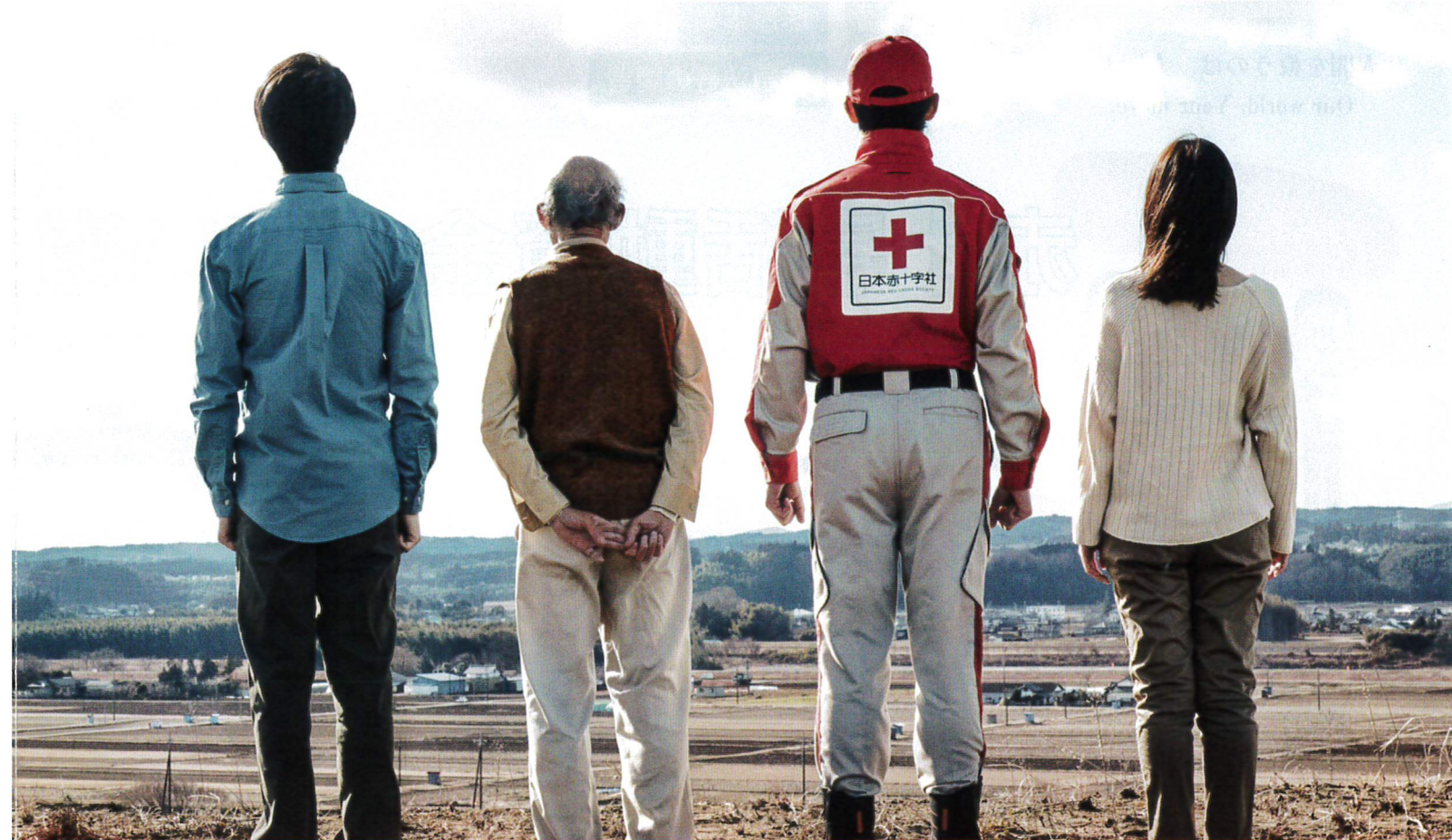
日本赤十字社への年額2千円を超えるご寄付には、所得税の優遇措置が受けられます。また、相続された財産をご寄付いただいた場合には、相続税が非課税となります。詳しくは日本赤十字社のホームページをご覧ください。

日本赤十字社福島県支部 〒960-1197 福島市永井川字北原田17

TEL 024-545-7998 * お問合せ時間 ▶ 9:00~17:30(土日祝祭日除く) | <https://www.jrc.or.jp/chapter/fukushima>

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。



赤十字の活動は、皆さまのご寄付によって支えられています
かけがえのない命を守り続けていくために活動資金へのご協力をお願いいたします

【支部長挨拶】



日本赤十字社福島県支部
支部長 内堀 雅雄

県民の皆さまには、日頃から日本赤十字社に対し、御理解と御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

東日本大震災から11年が経過しましたが、福島県支部は国内外からの温かい御支援により、発災直後から医療救護、避難所等におけるこころのケア、ボランティアによる被災者支援活動、仮設住宅等での健康教室の開催、被災した学校への支援など、多岐にわたる復興支援活動を継続して実施してまいりました。

長引く新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、日本赤十字社の全社を挙げて対応しており、横浜港のクルーズ船への医療救護班派遣を始め、赤十字病院での感染者受入、差別や偏見の防止に向けた啓発などに取り組んでおります。

さらに、大規模自然災害での救護活動や防災・減災セミナーの開催、急速な高齢化を踏まえた健康生活支援講習などの事業を実施し、地域包括ケアにも寄与してまいります。

このような赤十字の事業・活動は、県民の皆さまから寄せいただいた善意の活動資金により支えられております。

今後も、福島県支部は「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命を果たしてまいりますので、県民の皆さまの御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年4月

救いを託されている。

日本赤十字社 福島県支部
Japanese Red Cross Society

赤十字とは



Henry Dunant
赤十字の創始者 アンリ・デュナン

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.

赤十字は、スイス人のアンリ・デュナン(第1回ノーベル平和賞受賞)が提唱した「人の命を尊重し、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、1864年に誕生しました。令和3年現在192の国と地域が加盟しており、世界中にネットワークを持って活動しています。

日本赤十字社はそのうちの一社であり、西南戦争時に設立された博愛社を前身として、1888年(明治21年)の磐梯山噴火では初めての災害救護を行い、翌年、福島県支部が創立しました。裏磐梯・五色沼の駐車場には、「日本赤十字社平時災害救護発祥の地」として記念碑が建立されています。

日本赤十字社 9 つの事業

- 国内災害救護
- 医療事業
- 看護師等育成事業
- 血液事業
- 国際活動
- 社会福祉事業
- 救急法等の講習
- 赤十字ボランティア
- 青少年赤十字

コロナ禍における赤十字の活動

日本赤十字社の新型コロナウイルス感染症に対する活動報告はこちらから

日赤コロナ活動報告

検索



赤十字病院での感染者の受入



感染対策を講じながら献血を実施



ワクチン接種会場のボランティア



オンライン防災セミナー



長引くコロナ禍の中で
こころの健康を保つ
ための啓発動画を配信中
です。右のQRコード
から全編がご覧いた
けます

ウイルスの次に
やってくるもの



新型コロナの
3つの顔

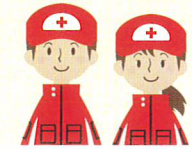


赤十字活動資金の使い道



皆さまからの
ご寄付 (赤十字
活動資金)

ありがとうございます!



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社に
ご寄付が届きます

1 通常の備え

災害時に迅速に対応するた
め、災害救護訓練、資機材の
整備、ボランティア育成等
を行っています。



いのちと健康を守る講習

赤十字救急法や
健康生活支援講習
など各種講習会を
実施しています。



救援物資の備蓄

災害時に必要となる物資を、
様々な拠点に配備しています。

■主な救援物資(例)



3 災害発生

日本赤十字社が
総力をあげて対応

全国の赤十字が連携し、
被災地に向けて職員を
派遣する準備をします。



被災地での活動

4



ボランティアと共に
必要な物資を準備



奉仕団による炊き出し



救援物資の配布



こころのケア

災害はこころにも大きな傷を残します。少
しでもこころが休まるよう寄り添います。



医療救護

被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の
設置や巡回診療を行います。



血液製剤の供給

全国の血液センターが連携し、災害時も
必要な血液を安定的に供給します。

未来へつなげる

過去の災害救護で培った経験を忘れず、
未来へつないでいきます。



きけん
はっけん!



こどもたちへの
防災教育

未来を担うこどもたちへ、
自然災害の正しい知識と、
自ら考え生き抜く力を。

皆様のご支援に
心より感謝申し上げます

これら赤十字が行う活動は
国や地方公共団体からの財政支援はなく、
県内の皆さまからお寄せいただく
活動資金に支えられています。



赤十字奉仕団の活動

日本赤十字社は、全国各地の多くのボランティアに
よって支えられています。福島県は全市町村に奉仕団が
あり、59市町村に145団、約1万人の方が登録し、地域のボランティア
活動を行っています。

災害時には避難所での炊き出しや、壊れた家財道具の片付けなど被災者のニーズに添った支援活動を行っています。

コロナ禍ではマスクや防護ガウンづくり、ワクチン接種会場のボランティアなど、市町村と連携しながら地域に根差した活動を展開しています。

詳しくは「赤十字奉仕団」で検索、
またはこちらの
QRコードから
アクセスして
下さい

